



学校長 中舎 ゆう子

子ども達の日常の様子を見に行きま
すと、授業の中ではりきって手を挙げ
たり、休み時間には友達と元気に遊ん
だりする姿が見られます。

また一方で、新しいクラスや友達に慣れてくるのはいいことなのですが、この時期になると、緊張感が少しくなってきた、「まあ、これくらい、いいか」とちよつといひ加減な気持ちになってしまふことがありますか。「これはやり続けよう」と決心したことなのに、時間が経つにつれて、だんだんおそろかになってしまふことがよくあると思います。

昔、森信三という大学の先生が、「子どもたちが立派な大人に育つために、これをやり続けることができれば大丈夫」という方法を考えました。その方法は、たった三つだけ……。

みなさん、この三つがどんなことか
分かりますか？

一つ目は、「あいさつ」です。
二つ目は、「返事」です。
三つ目は、「履物をそろえること」
です。

「その三つなら、自分はできています。」と答えられる人がいるかもしれない。しかし、多くの人にとって、は、とても簡単なように思えることで、自分から進んで、誰にも注意されないのでずっとやり続けることは実は難しいことだと思います。

「あいさつ」「返事」「履物をそろえること」は、やろうと思えば、誰だってやることです。やることを、いつやるでも自分から進んでしつかりやることとすることができる、実は最も素晴らしいことだと思えます。

今までから自分が続けていることはもちろんですが、さあ、今日からどんなことを続けてやっていきますか。

子ども達の頑張りを見守りつつ応援していきたいと思います。保護者や地域の皆さまにもご支援いただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

亀岡小学校令和七年度PTA会長村上健二

保護者の皆様におかれましては、平素よりPTA活動にご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。本年度PTA会長の職をお預かりする村上と申します。

さて、「ロナ」も落ち着き、昨年度から通常のPTA活動が行われるようになりました。再開した活動の一つとして、一年生の保護者皆様に向けた給食試食会を復活しました。試食をするだけでなく学校の雰囲気を知ることが出来る場として、また他の保護者と繋がりを持てる場として好評いただきました。また、六年生の卒業を祝う会では、保護者が子供たちと共にドッジボールやスライドを見たりして交流が図れ、子供達と小学校での最後の思い出作りが出来き、私自身も一保護者として楽しむことができました。

時、先生は「おれにやらせろ」との言葉をいってPTAと自分たちを区別し、存在自体に疑問が挙げられてしまっていてE.T.Aという団体がある。小学生的の間はまだ親の手から完全に離れて学校生活を送ることは難しいと考えています。子供達が毎朝家を出て、安全に学校生活を終え帰宅する。その当たり前に行われている日常の裏には、先生方の日々の尽心くわび各保護者の協力、地域の皆様のお力添えがあつてゐると思ひます。子供たちが安心して笑んで学べる環境を送るためには学校に住まいにするのではなく、子供達や先生方、保護者それぞれが学びを持つて、みんなの力でよりよい未来をつくっていくたい、そんな想いで考えました。

P.T.A活動例年通りの事業を継続するだけでなく、いまは時代に沿った形で変化していく事が必要だと考えて本部が受け持つこととなりました。これから子供達は返りスリム化していく事で保護者の方々の負担を減らすコストパフォーマンスの高い運営を目指していきます。

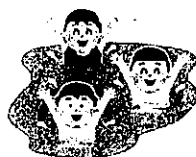
最後になりますが、子供たちの成長に寄り添い、関心を有する全ての皆様に、共に学び、笑顔あふれる開闊小学校を創るべく今後により一層積極的に連携・協働してまいりますので、引き続き皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	備考	
曜	金	土	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	土	土	金	土	火	水	木	金	土	土	月	火	水	木	金	土		
全校校舎(15時40分下校 交通安全教育⑥(二年)	全校校舎(15時40分下校)	運動会⑤	おひのひ	おひのひ	運動会⑤	全校校舎(15時40分下校)	フツ化物洗口(1学階開設)	眼科検診(全校13時)			内科検診(一・二・四年)	新体力テスト予備日	全校校舎(15時35分下校)	フツ化物洗口 授業参観⑤	野外教育洗口⑤(五年)	内科検診(一・二・四年)	新体力テスト予備日	府学膳(日)六月六日(の)	耳科検診(三・五・七・九・十時)クラブ⑤	府学膳(日)五月五日(の)	校旗	全校校舎(四時四十分下校)	府学膳(日)四月四日(の)	修学旅行①	修学旅行①	修学旅行①	修学旅行①	内科検診(一・二・三年)	六学年休日	六年生四校練演習(13時分下校)	全校校舎(15時35分下校)	プール清掃 フツ化物洗口	六月の主な行事 2日(卯)児童委員会 4日(卯)心臓・次梗塞(9時)① 全校校舎(15時35分下校) 5日(卯)フツ化物洗口 9日(卯)クラブ⑤ 人権週間(20日) 11日(卯)全校校舎五校時(14時35分下校) 全校校舎① 12日(卯)フツ化物洗口 13日(卯)五年生五校時練演習(14時35分下校) 15日(卯)野外学習(一日)五年 16日(卯)野外学習(一日)五年 17日(卯)五年生休日 18日(卯)五年生四校時練演習(13時10分下校) 19日(卯)フツ化物洗口 23日(卯)クラブ⑤(四・六年) 25日(卯)全校校舎五校時(14時35分下校) 26日(卯)フツ化物洗口(1学階開設) 30日(卯)児童委員会③

一ねんせいになつて たのしみなこと

一年

みずあそびがしたいよ。あつくつたらぶるにはいつて、すらいだあができたらしいな。すいえいがたのしみだよ。



一年

どろんこあそびがしたいよ。あなをほつてみずをいれて、おんせんをつくりたいよ。みんなでおんせんにはいりたいよ。

一年

みんなとたくさんあそびたいよ。げんきよくからだをうごかすのがすきだよ。うんどうやあそびがすきだよ。

一年

おんがくがたのしみだよ。うたつたり、がつきをひいたりしてみたいよ。おべんきようをがんばるよ。

一年

さんすうのおべんきようをがんばりたいよ。どっちばーるをしてともだちとあそぶのがたのしみだよ。

一年

ずこうでおりがみをがんばりたいよ。うんどうかいがたのしみだよ。



一年
たいいくのおべんきようをがんばりたいよ。えんそくにいくのがたのしみだよ。

一年

かぜをひかないようにがんばりたいよ。うんどうかいがたのしみだよ。

二年生でがんばりたいこと

一年

ぼくは、うんどうかいをがんばります。りゆうは、お家の人にかっこいいすがたを見てもらいたいからです。かけさんもがんばります。りゆうは、かけさんが大すきだからです。



一年

わたしは、かけさんをがんばりたいです。りゆうは、けいさんがはやくなりたからです。もう一つ、かん字をがんばりたいです。りゆうは、もつと字がきれいになりたいからです。

一年

わたしは、やさいをそだてることをがんばります。りゆうは、もつてかえつたらかぞくにたべてもらつて、「おいしい」といつてもらいたいからです。

二年
ぼくがサッカーでがんばりたいことは、リフティングです。どうしてかというと、まえは四回だつたけど八回できるようになりたからです。

一年

ぼくががんばりたいことは、しせいをよくする、人のほしをきく、しつもんするまえにかんがえる、はやねはやおき字をきれいにかく、いえてべんきようする、がつこうにいくまえにもつをかくにんすることです。

一年

わたしががんばりたいことは、おころれないようにする、プール、わすれものを0にする、さんすうのべんきよう、あいさつをおおきなこえですることです。

三年生でがんばりたいこと

三年

三年生でぼくは、サッカーをがんばります。どうしてかというと、二年生のコートよりも広くなつて、つかれるからです。体力もつけないとだめだと思つし、ドリブルでむずかしいわざもできるようにもつとれんしゅうしたいと思つます。

三年生の学習でがんばりたいことは、理科と社会と外国語です。三年生になつて、ふえたべんきようだから、はじめてのことになるし、わからないこともあるから、いっぱいべんきようしたいなと思つます。

います。

三年

わたしは、みんなにやさしい三年生になりたいです。どうしてかというと、みんなにやさしくすると、みんな元気になると思つたからです。もし自分がこまつたときに、たすけてくれるかもしれないからです。おにいちゃん、おねえちゃんがつともやさしいから、自分もおにいちゃんやおねえちゃんみたいにになりたいです。先生や友だちもつともやさしいので、とてもうれしいと思つています。次は、わたしがやさしくできる三年生になりたいです。ちがうクラスの人も、ちがう学年の人にも、とてもやさしい自分を見せたいです。自分だけじゃなく、同じクラスの人、ちがう学年の人、みんなやさしい亀岡小学校にしたいです。



三年

わたしががんばりたいことは、人の話を聞くこととしせいをよくすることです。いつでもしせいをよくして、にが手な算数もこれからどんどん始まるのでがんばりたいです。人の話を聞くこともとくいではないのががんばりたいです。あとは字をきれいに書けるように国語の漢字もがんばりたいです。三年生になり、お家の人にもおどろかれたので、もつとちゃんとできるようにがんばりたいです。そしてここで書いたことがぜんぶ直せてできるようになつたらどんなに気もちが

いいだろう、うれいだろうと考えると
すごく楽しみなってきました。

三年

わたしは、三年生ではとくに外国語を
がんばりたいです。外国語でたくさん
言葉をおぼえて楽しく外国語ができるよ
うになったらいいなと思います。ほかに
も社会や理科もがんばりたいです。理科
はたくさんじつけんができるといいなと
思います。一、二年でもあった算数や国
語もがんばりたいです。そしてみんなと
楽しんでいろいろなきょうかをしたいで
す。たくさんさんのべんきょうをがんばつて
はじめて知ったことをふやしていける一
年にしていききたいと思いました。

四年生でがんばりたいこと

四年

ぼくが四年生でがんばりたいことは四
つあります。

一つ目は、そうじです。そうじは、は
じめるのがおそくなつてしまつて間に合
わないときがあるからです。

二つ目は音読です。音読は、スピード
がはやかったりおそかったりするからで
す。

三つ目は、発表です。ぼくは発表が苦
手だからです。前で発表が苦手だから、
前で発表をがんばりたいです。

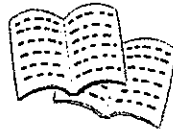
四つ目は教科です。算数はかけざんが
苦手です。たとえば、九×九はできるけ
ど、九十九×二十七とかが苦手だから計
算と国語の文章題が苦手だからがんばり

たいです。

四年

ぼくが新しい学年でがんばりたいこと
は、人との会話を増やすことです。四年
生の勉強は難しくなるので、友だちと支
え合うことが大切だと思います。そこで
会話を増やすことによって、なかが深ま
り、お互い助け合えることが増えると思
います。

二つ目は学習したこと
をわすれないようにする
ことです。学習するとき
に、内容を今後にどうい
かしていくかを考えてい
きたいです。夏休みなど
でしっかり復習していき
たいです。



三つ目は、自分のことは自分でする
ということです。ぼくは自分で決めたこと
をやりたいことが多くあるので、それを
なくせるようにがんばっていききたいと思
います。

五年

私の五年生で頑張りたいことは、あい
さつです。なぜなら四年生で少ししかで
きてなかったからです。

五年生の高学年として挨拶をがんばり
たいなと思います。もう一つは、野外学
習です。野外学習は、時間を守らないと
ダメだから、頑張りたいです。もう一つ
は、後片付けです。四年生でも頑張つて
きたけど、五年生でも頑張りたいし綺麗
に後片付けをしたらみんないい気分にな

れるから頑張りたいなと思います。もう
一つは、優しい五年生になることです。
なぜなら優しい五年生になりたいからで
す。六年生みたいな感じで優しくできた
らいいなと思います。最後は勉強です。
なぜなら五年生の勉強は難しいから頑張
りたいなと思います。漢字もき
れいに書くこと
も頑張りたいで
す。



五年

私のがんばりたい事は、二つあります。
一つ目は、自分を大切にする事です。「自
分を大切にすること」という事は、自分に甘
くする事ではありません。でも、自分を
応援したりする事は良い事です。それに、
自分をせめたりする事とついネガティブに
なつてしまつたり、ストレスになります。
だから、自分をせめず逆にほめると良い
と思います。

二つ目は、友達を大切にする事です。
友達がいないかったら、話す相手がいな
い、なやみを聞いてくれるからです。

五年

私が五年生になつて頑張りたいことは、
下級生のお手本になつて、いろいろな先
生達に今年の五年生つてすごいなと思
つてもらふことです。下級生のお手本にな
ることは困っている人がいたら、どうし
たの？や大丈夫？と声をかけてあげた
いです。一年生の時に、私も声をかけて
もらったことがあったので、困っている
人がいたら優しく声をかけてあげたいと

思ったからです。そのためには、自分の
気持ちによゆうを持ちたいと思います。
先生達にすごいなと思つてもらいたい
は、「ソウゾウ以上が五年生」と言う学
年目標なので、先生達のソウゾウをこえ
るすごい五年生になりたいからです。

五年

私が五年生で頑張りたいことは、二つ
あります。

一つ目は、委員会です。五年生で初め
の委員会は、本部総括委員会になりま
した。本部総括委員会は、学校の中心と
なる委員会なので、本当に自分ができる
か不安で心配だけど、本部総括委員会に
なつたからには、全力で委員会活動に取
り組もうと思いました。

二つ目は、高学年として頑張ること
です。理由は、前までは、中学年で五年生
と六年生が亀小のリーダー、サブリ
ーダーとして、亀小を引っ張つてくれ
たけど、五年生になつたら、私たちがサ
ブリーダーになつて、亀小を引っ張つて
いくからです。五年生には、サブリ
ーダーとして亀小を引っ張る仕事と、六
年生を支える仕事があるので、どちらも全
力で頑張ろうと思いました。

私は、何事も全力で頑張ることが大切
だと思いました。なので、「できる」、「で
きない」では
なく、どんな
ことにもとに
かくチャレン
ジしてみよう
と思います。



一学期にがんばりたいこと

六年

私の一学期の目標は、「たくさんさんの予定があっても計画的に取り組むこと」、「大勢の人の前でも落ち着いて大きな声を出し、覚悟を決めて勇気を出すこと」です。

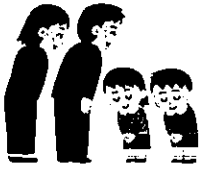
この二つの目標は、自分の課題でもある勇気を出して行動することや、大勢の前でも堂々と発表することをもとにして考えました。

六年生の学年目標は「自分を越えた自分へ」です。そのために、まずはクラスの中で、間違っていないからたくさん手を挙げて堂々と発表をしたいです。そして、クラスを引っ張っていくことが目標です。

また、学年でも同じように堂々と行動したいです。学年の一員としてみんなの役に立てるようにしたいです。

そして、下級生との関わりも増えていくので「こんな上級生になりたい」と思われるような六年生になりたいです。そのためにもどんな時も優しくいねいに関わり、信頼されることを目指します。

また、大人との関わりも大切にしたいです。敬語や礼儀を心がけ、全校を引っ張っていく姿を先生方に見せられるように頑張りたいです。そして家族に対しても感謝の気持ちを伝え、成長した人と思ってもらえる人間になりたいです。これが、私の一学期の目標です。



一学期の目標

六年

私の一学期の目標は、「自分を越えるために、何事にも自信をもつ」です。

目標を達成するため、自分の良いところやある「色々なアイディアを考えられる」ところは



どんどん伸ばしていって、得意な「細かい作業」にもたくさん取り組んでいきたいと思っています。その他にも自分で考えて行動したり、時間の使い方に気をつけたりして、さらに成長していきたいと思っています。

今年一年一緒に活動していくクラスは、思いやりのあふれるクラスになっていてほしいと思います。そのために、相手の気持ちを大切にしながら学校生活を過ごしたいと思っています。

せっかく同じ学年になれたみんななので、一緒に成長していきたいと思っています。そのために、みんなに楽しくポジティブに関わっていききたいと思っています。

また、下級生との関わりも大切にしていきたいです。特に一年生は初めてのことが多く、不安だったたり怖かったりすることが多いと思います。なので、すでに経験している私たちが色々手伝ったり、優しく接したりすることを意識していきたいと思っています。

大人との関わりも意識していきたいと思っています。私の学校生活を支えてくださっている方達なので、それに応えるためにもきつちりした態度で接していきたいと思っています。

これが、私の一学期の目標です。

本校の特別支援教育

特別支援教育部 横山 知子

「子どもは子どもの中でこそ育つ」という学校理念のもと、一人ひとりの子どもにとつて学校が、自分らしく、安心して過ごせる場所でありたいと考えています。そして、一人ひとりが大切にされる人権教育の柱として特別支援教育を位置づけ、全ての子ども達が安心して居場所づくりを目指しています。

学校は、様々な個性をもった子ども達が集まって学校生活を送っています。ゆつくりとしたペースで活動する子どももいれば、さっさとやりたい子どももいます。体を動かすことが好きな子どももいれば、読書が好きな子どももいます。いろいろな個性をもった子ども達とふれ合う中でこそ、人への思いやりや優しさ、コミュニケーションの基礎が培われます。また、児童の中には、大きな集団ではなく、まずは、小さい集団から自分の良さを発揮して学びを深めていく子どももいます。

本校には、特別支援学級が六学級あり、名前を「さくら学級」と呼び、大切な学級として位置づけています。さくら学級では、一人ひとりの子どもの発達や特性に合わせて指導計画を立て個に応じた指導と支援を行っています。少ない人数で、国語や算数の学習を中心に「ゆつくり」「じっくり」「その子のペースに」活動を行います。

他にも遊びや協働作業などを通して人との関わり方を学習しています。「生活単元学習」という教科の枠を超え、一、六年生みんなで総合的な学習もしています。一人ひとりが力を発揮し、

『主体的に』そして、『協働』して取り組んでいく单元でもあります。

特別支援学級は、「連続性のある多様な学びの一つである」という認識を大切に取り組んでいきたいと思っています。

更に、本校には、通級指導教室が四教室あり「ことばの教室」と呼んでいます。ことばや友達とのコミュニケーションに関わる学習を、一人ひとりの教育的ニーズに合わせて指導・支援を行っています。

他にも、『ほっとルーム』という静かな場所ですぐ児童もいます。「学校に行きづらい」と、登校しづらくなっている児童が、少ない人数で静かに学習したり、気持ちを落ち着かせたりしながら教室へ戻るエネルギーをためる部屋です。さくら学級やことばの教室だけでなく、一人ひとりの個を見つめ、個を受容し個を大切にできるように目指しています。また、子ども達の様子や状態を把握し、受け入れ、支援し、学級指導を行っています。

ご家庭におかれましては、子ども達が互いを認め合い育ち合っているよう、そして、助け合いながら楽しく学校生活が送れますよう温かく見守っていただければ嬉しく思います。

本校の特別支援教育の推進に、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

